

自立支援局だより

第37号 2018. 8発行

平成30年度国立障害者リハビリテーションセンター 体育祭が開催される

支援企画課

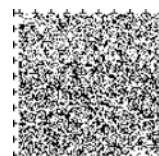
前々日から天候が思わしくなく、当日の天気が非常に心配された体育祭でしたが、6月1日金曜日、午前9時30分から国立障害者リハビリテーションセンター（以下「国リハ」という。）のグラウンドで開催されました。国リハ自立支援局の利用者、学院生及び職員で組織された実行委員会を中心に4月24日の第1回体育祭実行委員会から着々と準備が進められ、500名規模の、障害者スポーツの祭典が華々しくスタートしました。



選手宣誓



ぐるぐるバット



センターの利用者は、視覚障害・聴覚障害・肢体不自由等様々な障害をお持ちなのでそれぞれの障害特性に応じた競技種目となっており、また昨年度の反省を踏まえ、体力面などを考慮して、競技種目や競技時間を減らして、全体としてゆったりとした進行になりました。プログラムに沿って開会宣言、総長挨拶、優勝杯返還、選手宣誓と続き、いよいよ全員参加の大玉送りから競技に入りました。10人11脚リレーで、相互に協力する姿や、障害物競走での悪戦苦闘、車椅子スラロームでの真剣な表情など、様々な場面で出場者の生き生きとした姿が見られました。人気のパン食い競争ではアンパンやジャムパン、クリームパンもあるのに、なぜか今年もメロンパンを目指す選手が多かったです。綱引き競技は迫力満点で、延長3回戦まで及びました。また、フライングディスクの飛距離を競う「ディスタンス」では、飛距離が大きく伸びた瞬間に歓声が揚がり、白組が紅組に追いついて同点に並ぶエキサイティングな競技展開になりました。



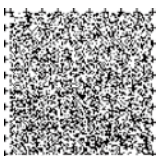
スラローム



大玉送り



パン食い競争



シヨンセンター 体育祭が開催される

最後に自立支援局利用者対抗リレーで白組が紅組を大きく引き離し、紅 322 点对白 347 点となり昨年度に引き続いて白組が優勝して、平成 30 年度国リハ体育祭は幕をおろしました。

今年度の体育祭では、北側の本部席の両脇に応援席を配置したことで、心地良いそよ風と、穏やかな木漏れ日に包まれる快適な環境で、応援に集中することができました。

このような工夫を重ねながら国リハの伝統的な行事として末永く続けていきたいと思ひます。



借り物競走



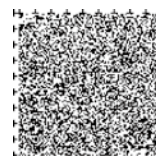
義足体験



10人11脚



綱引き



就職セミナーを実施しています！

～あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を目指して～

就労移行支援課 就労相談室 堀 美貴子

就労相談室では、就労移行支援（養成施設）最終学年の利用者のみなさんを対象に、就職の準備を整えることを目的に就職セミナーを実施しています。「就職の準備を整える」とは、一体どういうことなのでしょうか？今回は、就職セミナーで利用者のみなさんが学んでいる内容についてご紹介いたします。

最終学年になると、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師（以下「あはき師」という。）国家資格取得のための勉学、臨床実習、そして就職活動と目まぐるしい日々がやってきます。そのような状況の中、早期に就職先の内定を得ることができれば、余裕をもって国家試験対策に臨めること、あはき師になりたいというモチベーションが上がることなどの利点があると考えます。勉学優先を前提としつつ、より早期に就職活動を行うことができるように最終学年の4月から就職セミナーを実施し支援しています。

就職セミナーの主なテーマ

1 「就職活動の準備について」

就職活動の流れ・進め方

ハローワークの登録・利用方法

2 「応募書類について」

履歴書、職務経歴書、

自己紹介状、送付状などの書き方

3 「面接の心得について」

面接時の身だしなみ・マナー、

よくある質問、受け答え方

4 模擬面接

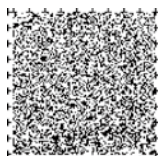
就職面接を想定した面接練習



あはき師という専門職である前に、まずは社会人としてのビジネスマナーが求められること、そしてあはき師はサービス業の一面もあり、より丁寧なコミュニケーションが求められることから、それらに対する準備が大切であると考え、毎回利用者のみなさんに学んでいただいています。

今号発刊の頃には、早い方ではいよいよ就職活動開始となっている時期でしょうか。

あはき師を目指して日々精進されている利用者のみなさんへ、熱いエールをお願いします！



課題研究

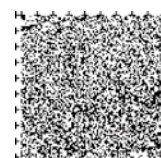
理療教育・就労支援部 理療教育課

課題研究は理療教育課の高等課程 4 年生と 5 年生のための科目です。専門的な知識と技術の深化及び総合化を図るとともに、施術者として必要な問題解決の能力や態度を養うことを目的として「理療と解剖学」、「理療と生理学」、「理療と臨床医学各論」という 3 つの分野に分けています。「理療と解剖学」は高等 4 年で週に 2 時間指導し、「理療と生理学」及び「理療と臨床医学各論」は高等 5 年で週に合計 3 時間指導しています。構造と機能との関連、病態生理に関する内容も含め指導に当たっています。利用者の興味や関心に応じ

て、適切な課題設定から研究計画ができるように教科指導計画書を作成しており、演習は利用者の実態を考慮し、他の科目との関連に留意しながら実施しています。

解剖学、生理学は模型や標本を活用し、具体的かつ立体的に理解できるようにしています。臨床医学各論では専門的な知識と技術を深めるとともに、施術に応用する能力と態度を修得できるよう、能動的な学習態度を育成しています。

文責：渡邊



利用者募集のご案内

当センターでは、下記のサービスの利用を希望する方を随時募集しています。
利用を希望される方は、総合相談課までお問い合わせください。

自立訓練（機能訓練）

主に視覚に障害のある方や頸髄損傷等による重度の肢体不自由の方が、地域や家庭、職場などで持てる力を最大限に生かし、より充実した社会生活を送れるよう支援します。

- 視覚に障害のある方：白杖使用による歩行訓練、日常生活訓練、コミュニケーション訓練など
- 頸髄損傷等による重度の肢体不自由の方：理学療法、作業療法、スポーツ訓練、職能訓練など

自立訓練（生活訓練）

主に高次脳機能障害のある方が、日常生活や社会生活に必要な手段を理解し、生活能力を高められるよう、個々の生活状況に応じて支援します。

- スケジュール管理、生活管理能力の向上、社会生活技能の向上、作業力の向上など

就労移行支援

就労が見込まれる主に身体に障害がある方に、企業への就職、また、復職に向けて、各種訓練や職場実習により、働くための力を付けることや就職活動を支援します。

- 職場体験訓練、技能習得訓練、職場実習、就職活動支援など

就労移行支援（養成施設）

視覚に障害のある方が、国家資格であるあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の受験資格を得るための職業教育を行い、これを活用し、就労することを支援します。

- 授業（講義、実技実習、臨床実習など）や就労マッチング支援など

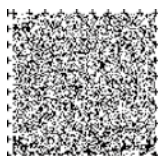
※通所で上記サービスを利用することが困難な方には、施設入所支援（宿舍）を提供しておりますので、あわせてご相談ください。

<問い合わせ先> 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 総合相談課
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL：04-2995-3100（代表） FAX：04-2992-4525（直通）

E-mail：rehab-soudan@mhlw.go.jp URL：http://www.rehab.go.jp/

※施設利用申込書（様式）は当センター
ホームページからダウンロードできます。



※平成30年8月13日からE-mailアドレスが変わりました。ご注意ください。